

稚内市では、日本有数の風況を活かし、風力発電所をはじめ、メガソーラー発電所やバイオマス発電所の設置など、再生可能エネルギーの導入を進めており、今後は再生可能エネルギーの地産地消に向けた、電力自己託送の開始や地域エネルギー会社設立など、持続可能な社会構築を目指している。

関連数値目標・KPI

	基準値 (R元)	実績 (R元)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
地域エネルギー会社からの電力供給率(%)	0	—	6	—

取組の推進体制

地域エネルギー会社の設立に向け、稚内商工会議所や北海道電力等の関係者と電力供給に係る電源調達や収支シミュレーションの検討、事業計画の作成、資金調達に係る詳細検討を進めてきた。また、2021年2月には出資者説明会を開催し21社の参加があった。

再生可能エネルギーの地産地消に向けたロードマップ

<p>電力自己託送の開始 (2021年度開始)</p>	<p>地域エネルギー会社設立・電力の小売り (2021年度設立)</p>	<p>事業者・一般家庭への電力の小売り (2025年度以降)</p>
--	---	---

取組事例 エネルギー地産地消モデル構築プロジェクト

再生可能エネルギーの導入

- 主な発電施設
 - ・風力発電事業
水道事業風車3基 (1,980KW)
 - ・メガソーラー発電所
太陽光発電 (4,990KW)
 - ・民間風力発電事業 (106,000KW)



地域エネルギー会社の設立

○稚内商工会議所や北海道電力等の関係者と連携を図りながら事業収支検討、出資手続き等を進め、令和4年1月の地域エネルギー会社設立に向け作業中である。

- 今後の方向性
電力自己託送の実現に向け、蓄電池システムの製作や関連工事を令和3年12月まで完了させ、令和4年2月から電力自己託送の試験運転、3月からの本格稼働を目指す。

